

# イチゴ原種苗施設 完成

J A全農岐阜 本巣市で3品種育成



温度管理や給水、防除などの作業を自動化した  
育成施設＝本巣市上高屋

J A全農岐阜(岐阜市宇佐南)のイチゴ原種苗育成施設が、本巣市上高屋に完成した。美濃娘など県全体のイチゴ生産量の9割を占める県産3品種の苗を栽培し、J Aを

通じて生産者へ提供する施設。4月から本格稼働する。  
鉄骨造りハウス2棟の広さは計390平方メートル。温度管理や給水、害虫防除の作業を自動で行う。1シーズ

ンの苗の生産能力は3600株。美濃娘、濃姫、華がりの県産品種の苗を生産する。

1983年の稼働だった市内の旧施設の老朽化のため、県の補助を活用し新設した。旧施設では苗の病気の発生もあり、新設が望まれていたという。

12日は、現地で式典が行われ、関係者20人が出席した。J A全農岐阜運営委員会の山内清久会長は「この施設の完成はイチゴ栽培の振興へ大きな弾み。今後、ブランド力が大きく高まることを期待している」とあいさつした。

県内のイチゴ生産量は2019年度で1175・5トン、生産額は14億5千万円。規模は全国で16位に位置する。  
(三輪真大)